

## 【短報】 マグソコガネ亜科4種の分布について

マグソコガネ亜科の4種に、新分布地を見出したので報告する。

1. キタヤマホソケシマグソコガネ *Trichiorhyssemus kitayamai* Ochi, Kawahara & Kawai, 2001

1ex., 沖縄県名護市羽地大川ダム, 31. III. 2007, 筆者採集.

分布: トカラ列島(宝島), 奄美諸島(奄美大島, 徳之島, 沖永良部島), 沖縄諸島(瀬底島, 瀬長島), 久米島, 八重山諸島(石垣島, 西表島, 波照間島, 与那国島); 台湾.

沖縄諸島(瀬底島, 瀬長島)の記録はあるが, 沖縄島からの記録はなかった.

2. ヤエヤマニセツツマグソコガネ *Ataenius picinus* Harold, 1867

1ex., 鹿児島県徳之島天城町三京旧道, 23. VI. 2006, 筆者採集.

分布: トカラ列島(中之島, 平島, 悪石島, 小宝島, 宝島), 奄美諸島(奄美大島, 喜界島, 沖永良部島), 沖縄島, 宮古諸島(宮古島, 多良間島), 八重山諸島(石垣島, 黒島, 竹富島, 西表島, 波照間島, 与那国島), 南大東島; 台湾, ニューカレドニア, バヌアツ, フィジー, オーストラリア, ニュージーランド, 南北アメリカ, 西インド諸島.

秋利神川の川沿いのナイターに飛来した. 徳之島は新分布となる.

3. セマダラマグソコガネ *Aphodius (Chilothorax) nigrotessellatus* (Motschulsky, 1866)

1ex., 鹿児島県屋久島安房松峯大橋, 15. VII. 1991, 筆者採集.

分布: 北海道, 本州, 佐渡島, 四国, 九州, 対馬, トカラ列島(諏訪之瀬島)(吉道, 2006); 濟州島, 朝鮮半島, 中国, サハリン, ロシア(東部).

古い記録であるが, 最近新分布と気付いた. 松峯大橋近くの林の中に設置した自家製のトラップ

に来ていた. 屋久島は新分布となる.

4. ウスイロマグソコガネ *Aphodius (Labarrus) sublimbatus* Motschulsky, 1860

1ex., 沖縄県与那国島比川牧場, 2. V. 2000, 筆者採集.

分布: 北海道, 本州, 隠岐諸島(島後, 西ノ島, 知夫里島), 山口県見島, 伊豆諸島(新島, 利島, 三宅島, 八丈島, 八丈小島, 青ヶ島), 小笠原諸島(南硫黄島), 四国, 高知県沖ノ島, 九州, 壱岐, 五島列島(宇久島, 野崎島, 嵯峨島), 対馬, 大隅諸島(口永良部島, 屋久島), トカラ列島(中之島, 平島, 諏訪之瀬島, 小宝島, 宝島), 奄美諸島(喜界島, 奄美大島, 与論島), 沖縄諸島(伊平屋島, 伊是名島, 沖縄島), 久米島, 宮古諸島(宮古島, 水納島, 多良間島), 八重山諸島(石垣島, 黒島, 小浜島, 西表島), 南大東島; 台湾, 緑島, 蘭嶼, 濟州島, 朝鮮半島, サハリン, 中国, インドシナ, タイ, ロシア(東部).

本邦では広く分布するが, 与那国島は初記録となる.

報告にあたり, ウスイロマグソコガネを同定していただいた益本仁雄博士, 分布の確認をしていただいた藤岡昌介氏のお二方にお礼を申し上げる.

## 引用文献

- 岡島秀治・荒谷邦雄, 2012. 日本産コガネムシ上科標準図鑑. 300 pp., 学研教育出版. 東京.  
藤岡昌介, 2001. 日本産コガネムシ上科総目録. 297 pp., コガネムシ研究会.  
吉道俊一, 2006. トカラ列島産コガネムシ類に関する記録・報告. 鯉角通信, (12): 19-25.

(田中 稔 663-8002 西宮市一里山町 19-18)

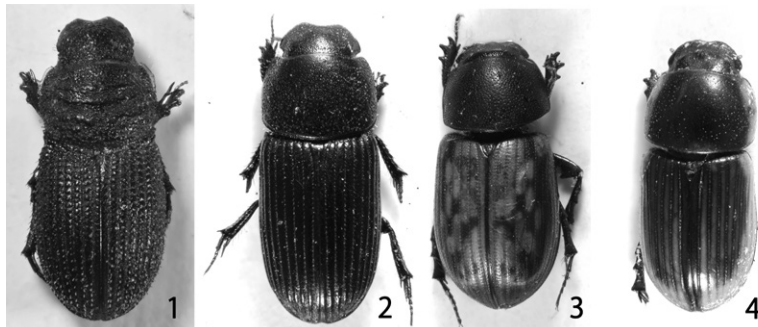


図1-4. マグソコガネ4種. 1, キタヤマホソケシマグソコガネ; 2, ヤエヤマニセツツマグソコガネ; 3, セマダラマグソコガネ; 4, ウスイロマグソコガネ.